

臨床研修地域医療研修カリキュラム

目標

G10：地域医療の特性および地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、診療所や在宅との病診連携はじめとした種々の施設や多職種と連携し、患者が営む日常生活や居住環境に即した地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応することができる。

SB0s：

- 1) 社会福祉施設等の役割について理解し、患者が必要とする施設との連携が取れる。
- 2) 地域保健・健康増進（保健所機能を含む）について理解し、地域保健活動に参画する。
- 3) 診療所の役割（病診連携を含む）について理解し、診療所と良好なコミュニケーションが取れる。
- 4) 在宅ケアの適応とそのために必要なアセスメントを理解し、適切なケア計画が提案できる。
- 5) かかりつけ医の機能について理解し、かかりつけ医との連携が取れる。

方略：

200床未満の医療機関での研修（4週間以上）

慢性期・回復期の病棟を含めた病棟で研修を行う

初診外来および慢性疾患の診療を含めた一般外来での研修を行う。

在宅医療を経験する

地域連携カンファレンスや多職種合同カンファレンスに主体的に参加する。

診療所や訪問看護への紹介状や指示書などの文書作成を行う。

評価：

- 1) EPOC または指定の評価表による評価を行う。
- 2) 2年目9-10月に中間評価、修了時に修了評価を行う。